

5 「平成5年度生まれの者」と「昭和38年度生まれの者」の年間発育量の比較

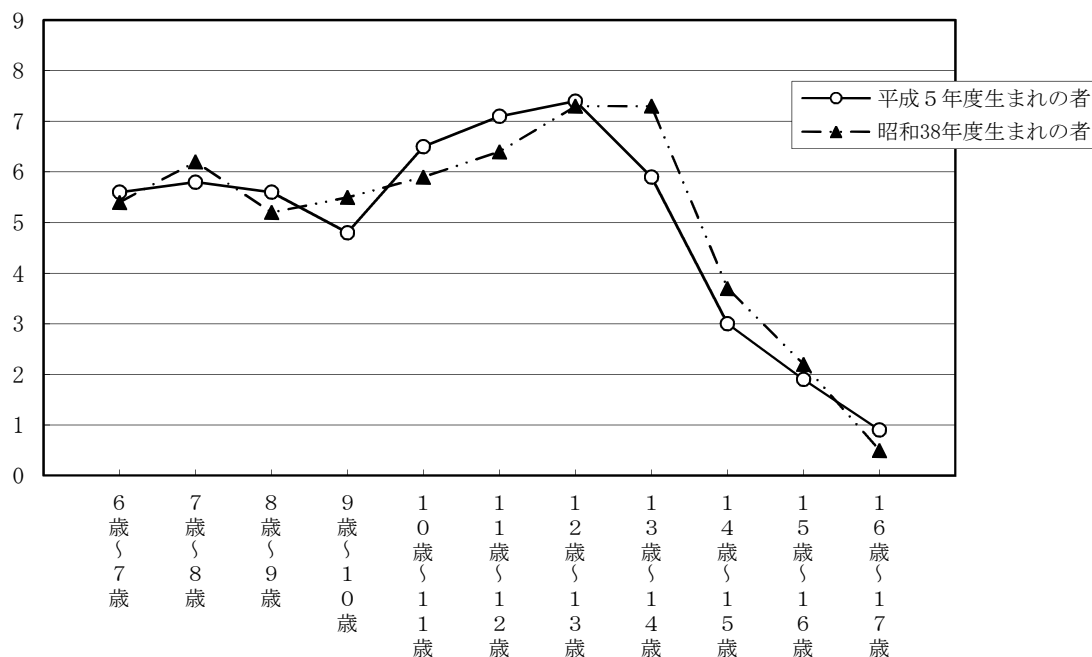
平成23年度調査で17歳（平成5年度生まれ）の者と、30年前の昭和56年度調査で17歳（昭和38年度生まれ）の者（親の世代）の6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量について比較すると、以下のとおりになります。

(1) 身長

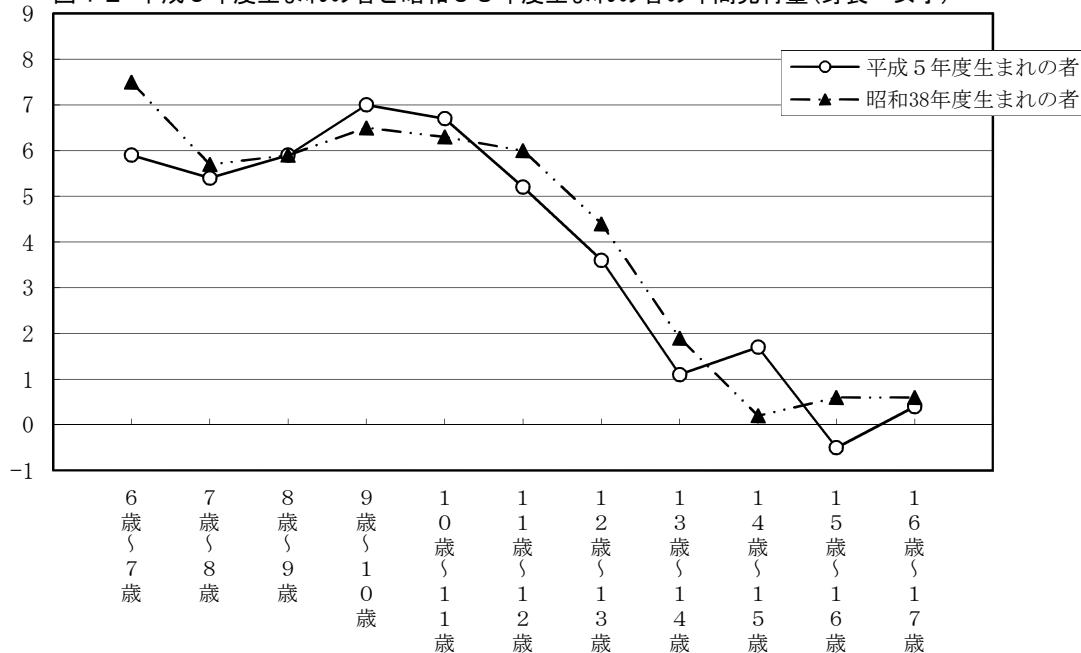
身長の年間発育量について「平成5年度生まれの者」と「昭和38年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成5年度生まれの者」が12歳～13歳（年間発育量7.4cm）、「昭和38年度生まれの者」は12歳～13歳と13歳～14歳（同7.3cm）になっています。女子では、「平成5年度生まれの者」が9歳～10歳（同7.0cm）、「昭和38年度生まれの者」は6歳～7歳（同7.5cm）になっています。

（図11、図12、表8）

(cm) 図11 平成5年度生まれの者と昭和38年度生まれの者の年間発育量（身長・男子）



(cm) 図12 平成5年度生まれの者と昭和38年度生まれの者の年間発育量（身長・女子）

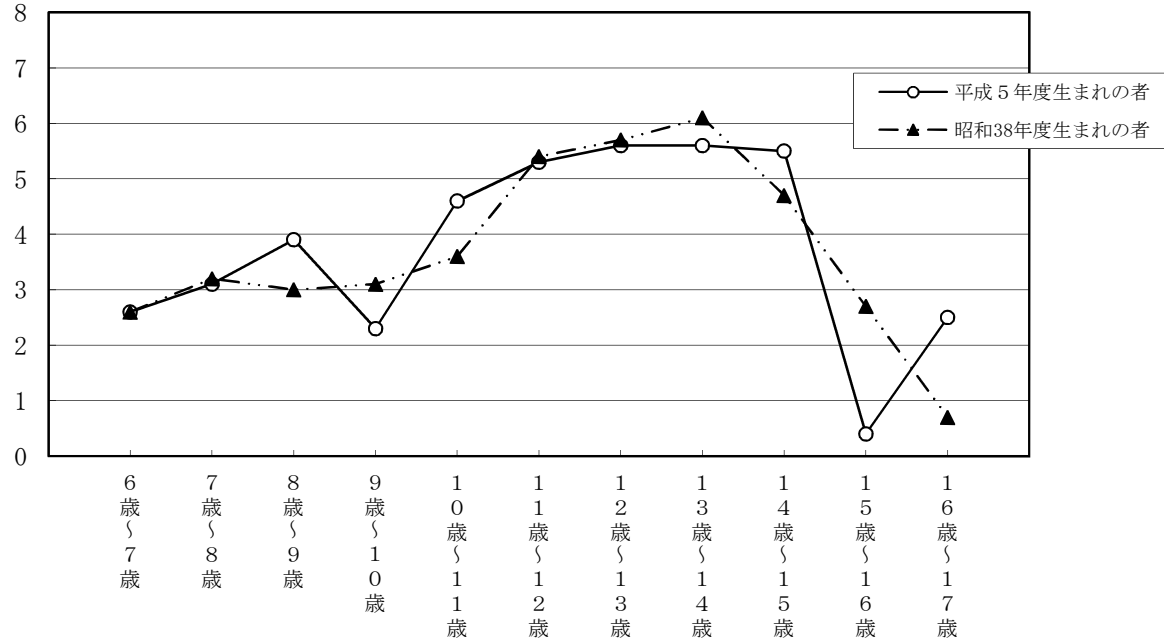


(2) 体重

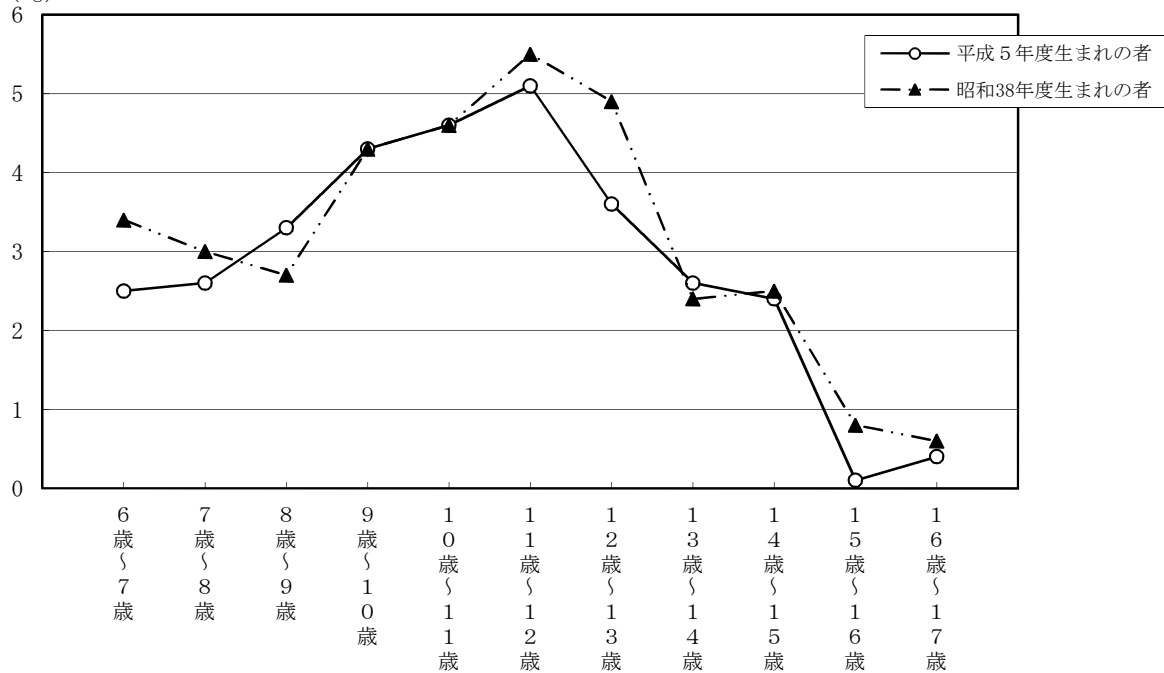
体重の年間発育量について「平成5年度生まれの者」と「昭和38年度生まれの者」とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成5年度生まれの者」が12歳～13歳と13歳～14歳（年間発育量5.6kg）、「昭和38年度生まれの者」は13歳～14歳（同6.1kg）になっています。女子では、「平成5年度生まれの者」、「昭和38年度生まれの者」ともに11歳～12歳になっています。

(図13、図14、表8)

(kg) 図13 平成5年度生まれの者と昭和38年度生まれの者の年間発育量(体重・男子)



(kg) 図14 平成5年度生まれの者と昭和38年度生まれの者の年間発育量(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較

身長が発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、男子の発育量は、小学校の時期は「平成5年度生まれの者」が35.4cm、「昭和38年度生まれの者」は34.6cmで、「平成5年度生まれの者」の方が大きくなっていますが、中学校・高等学校の時期は「平成5年度生まれの者」が19.1cm、「昭和38年度生まれの者」は21.0cmで、逆に「昭和38年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子の発育量は、小学校の時期と中学校・高等学校の時期ともに「昭和38年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成5年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和38年度生まれの者」よりも男子は1.1cm、女子は3.2cmそれぞれ小さくなっています。

また、同様に体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男子の発育量は、小学校の時期は「平成5年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は「昭和38年度生まれの者」の方が大きくなっています。女子の発育量は、小学校の時期と中学校・高等学校の時期ともに「昭和38年度生まれの者」の方が大きくなっています。

なお、「平成5年度生まれの者」の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「昭和38年度生まれの者」よりも男子は0.6kg大きく、女子は3.2kg小さくなっています。

(表8)

表8 「平成5年度生まれの者」と「昭和38年度生まれの者」の年間発育量

性別	年齢区分	身長(cm)				体重(kg)				
		平成5年度 生まれの者		昭和38年度 生まれの者		平成5年度 生まれの者		昭和38年度 生まれの者		
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.6		5.4		2.6		2.6		
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.8		6.2		3.1		3.2		
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.6	35.4	5.2	34.6	3.9	21.8	3.0	20.9	
	9歳(小4)～10歳(小5)	4.8		5.5		2.3		3.1		
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.5		5.9		4.6		3.6		
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.1		6.4		5.3		5.4		
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.4		7.3		5.6		5.7		
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.9		7.3		5.6		6.1		
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.0	19.1	3.7	21.0	5.5	19.6	4.7	19.9	
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.9		2.2		0.4		2.7		
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.9		0.5		2.5		0.7		
	11年間の総発育量		54.5		55.6		41.4		40.8	
	年間発育量の最も大きい年齢		12歳～13歳		12歳～13歳 13歳～14歳		12歳～13歳 13歳～14歳		13歳～14歳	
	女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.9		7.5		2.5		3.4	
		7歳(小2)～8歳(小3)	5.4		5.7		2.6		3.0	
		8歳(小3)～9歳(小4)	5.9	36.1	5.9	37.9	3.3	22.4	2.7	23.5
9歳(小4)～10歳(小5)		7.0		6.5		4.3		4.3		
10歳(小5)～11歳(小6)		6.7		6.3		4.6		4.6		
11歳(小6)～12歳(中1)		5.2		6.0		5.1		5.5		
12歳(中1)～13歳(中2)		3.6		4.4		3.6		4.9		
13歳(中2)～14歳(中3)		1.1		1.9		2.6		2.4		
14歳(中3)～15歳(高1)		1.7	6.3	0.2	7.7	2.4	9.1	2.5	11.2	
15歳(高1)～16歳(高2)		△0.5		0.6		0.1		0.8		
16歳(高2)～17歳(高3)		0.4		0.6		0.4		0.6		
11年間の総発育量		42.4		45.6		31.5		34.7		
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳		6歳～7歳		11歳～12歳		11歳～12歳		

(注)・年間発育量は、たとえば平成5年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成13年度調査の7歳の体格から平成12年度調査の6歳の体格を引いたものです。

- ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
- ・平成5年度生まれの者とは、平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で、平成12年度調査の6歳、平成23年度調査の17歳です。
- ・昭和38年度生まれの者とは、昭和38年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれた者で、昭和45年度調査の6歳、昭和56年度調査の17歳です。